媒体名	デーリー東北
掲載日	2005年4月18日（月）

まんが喫茶 人気再燃

ネット使い放題、シャワー設置

しゃれた雰囲気の「まんが喫茶」で足を伸ばしてくつろぐ女性＝東京都新宿区

サービス競い癒やしの場に

漫画本を図書館並みにそろえた「まんが喫茶（まん喫）」が、インターネット使い放題、シャワー設置などサービスをアップして、人気を取り戻している。漫画で育った二十代から四十代の男女を中心に、ひとときの癒やしの場になっているようだ。

▽自室よりいい

「コミックバスター・エムドライブ西中島店」はJR新大阪駅近くに昨年一月、オープンした。漫画本は新旧合わせて約二万冊。木製の壁で間仕切りされた二十七の席にはインターネット用パソコンが置かれ、ふかふかのリクライニングシートが備えられている。

男性店員はスーツにネクタイを着用して高級感を演出。間接照明でやや暗めの店内には、ジャズが静かに流れている。

漫画を読むだけでなく、無料で使えるパソコンでゲームにふける若者も多い。料金は最初の一時間が四百二十円で、コーヒーやジュースなどはお代わり自由。一日に会社員ら約百三十人が来店するという。

「上質な安らぎの空間を提供したい」と佐藤誠店長。「昼休みに弁当を持ち込んでひと息入れる方や、仕事帰りに立ち寄って二、三時間のんびり過ごされる方が多い」

近所で一人暮らしの男性（四）は「自分の部屋より居心地がいい」。同い年の女性は「誰にも邪魔されず、自分のペースで漫画を読むと心からくつろげます」と話す。

▽女性重視

学生の町である東京・高田馬場の「ルシェルシェ高田馬場店」は、一日二百人以上の利用者のほぼ半数が女性だ。約二万五千冊の漫画本の約三割が少女コミックで、女性ファッション誌も数十種類が本棚に並ぶ。

畳一畳ほどの和風個室、二人掛けのソファを備えたカップル向き、明るいカフェ風のコーナーと多彩に用意され、シャワー室まである。終電車を逃して夜明かしする客もいるとか。

「女性には清潔感が大事」（山本裕美店長）と、いすや机、ヘッドホンなどは使用後にアルコール消毒している。

「喫茶店やレストランだと長居しづらい。まん喫なら気持ちよく暇つぶしできます」と会社員の女性（三〇）。

業界団体「日本複合カフェ協会」（東京）によると、まん喫は一九八〇年ごろ名古屋で誕生。バブル経済とともに全国に広まったが、「まんが喫茶イコールおたくの集まる場所」とのイメージが強まり一時衰退した。

九〇年代後半からレストラン並みの食事やネイルアートなど個性的なサービスを導入して再び急成長、昨年の一年間で約五百店も増え、計約三千店に達している。お客のニーズを取り込んで再生したまん喫、さて次の一手は？